

ウエペケレ2

夜襲で滅びた村の
孤児姉弟の話

あらすじ

主人公は、姉と暮らす男の子。

私には姉がいる。毎日泣き暮らしていて、いつも私をおぶって働いていたが、私が少し大きくなると、私を家に残して山へ働きに行くようになった。

その日も姉は留守で、私が家の外に座っていると、川向こうの葦原に3人の不審な男が隠れるのが見えた。帰った姉にそれを告げると、姉は泣きながらわけを語る。

「まだお前が小さい頃、この村はトバットゥミ（夜襲）に遭い、お前をおぶって山に遊びに行っていた私たちだけが生き残ったのです。きっとその3人の男たちは、生き残りがいないか様子を見に来たのでしょう」と言って私に食事をさせ、それから家の隅に穴を掘って私を隠した。

姉は男たちに聞こえるように、殊更に一人暮らしの身上を何度も歌に歌っていると、男たちが現れた。「どうせ天涯孤独の身なのだから、殺せばいい」と姉は言ったが、男たちは「連れ帰って、飯炊きにでもしよう」と言ってさらって行ってしまった。

翌日、姉の機転によって難を逃れた私は、川のほとりでひとりの男と出くわす。男は一目散に私のほうへ駆けてくると私の頭を撫で、私を肩に抱えてずんずん石狩川を遡り、またずんずん川を下って湧別の村についた。

湧別には男の老父母があり、「私の息子は、どこからこんな可愛い子を連れてきたのだ」と言っていたいそう喜び、例えようのないほど私をかわいがって暮らした。私もまた「お父さん」「お母さん」「お兄さん」と言ってなつくので、なおさら私をかわいがることだった。しかし、私に生き別れた姉がいることは誰にも言えなかった。

私が大きくなったある日、老父は私にわけを尋ねた。「実は　　」私は姉と二人で暮らしていたこと、私の村が夜襲に遭って滅びたこと、夜襲の一派が再び様子を見に来たが、姉の機転によって私は難を逃れ、姉は男たちに連れ去られたこと、を話した。

すると老父たちはたいそう驚き、「石狩の先に夜襲が来て村が滅びたということは聞いていたが、ではお前は石狩のニシパの子孫なのだな」と言って同情し、さらに「お前ももう大きくなったのだから、夜襲の敵を討ちに行ったらいい。きっとお前の姉は生きていような気がするから、探し出して敵を討ちなさい」と言う。そこで私と兄は、村の屈強な男たちと共に、大勢で石狩へと向かった。

兄たちは山陰に潜み、私は一人で一軒の家へ入った。そこには2人の男が寝ており、互いに気づいた姉と私は声を忍ばせ再会を喜んだ。

やがて夜　　。兄たちも村に下りてきて祈りを捧げ、巫術によって村人を眠らせてから村に攻め入ると、村人たちは皆いびきをかいて寝入っているの、一軒一軒喉をかき斬って回り、やがて残らず皆殺しにしたのだった。

翌日、私たちは夜盗に奪われた父の持ち物を全部集め、かつて滅ぼされた私たちの村に行き、供養を行った。「神の国へ行けずにいる同胞たち、これからでも神の仲間入りして下さい」と兄達が祈り、家送りをして姉と子ども湧別の村に帰ったのだった。

湧別の父も喜んでくれ、姉も湧別の父に繰り返し礼を言うことには、「弟さえ生きていれば父の子孫を絶やさずに済むと思い、泣きながら育てていましたが、ニシパのおかげで弟もこんなに立派に成長してきたのです」と言って喜んだ。姉をさらっていった石狩の男が現れ、「飯炊き女にでもしようと思って連れていったが、毎日泣いてばかりいる。妻になれというのも気の毒になり、弟がいるというのでその弟を探し出してやろうと思っていましたが、姉弟一緒に暮らせるようになって良かった」と喜んだ。その男も可哀想なので別に家を建て、姉と所帯をもった。私も姉を大切に暮らした。

やがて湧別の父母も亡くなり、兄も結婚して子をもうけ、姉も幸せに死んでいった。私の子供も大きくなり、やがて私も死ぬのだが、「子供たちよ、私たちは石狩から来たものなので、でしゃばることなく、湧別の人たちと仲良く暮らすのだよ」と一人の男が語った。

- [1]-1
0:00 **アサ アン ヒネ オカアン ヒケ,**
a=sa an hine oka=an hike,
(私の)姉 ある して 暮らす(私達) したが
- 2 **アサ マク ネ ワ ネ ヤ**
a=sa mak ne wa ne ya
(私の)姉 どう である して である か
- 3 **チシ コロ パテカン コロ オラ**
cis kor patek an¹ kor ora
泣く しつつ ばかり いる しつつ そして
- 4 **イカイ カネ ワ,**
i=kay kane wa,
(私を)おぶう して して
- 5 **ネフ カラ ヤッカ イカイ カネ ワ ネフキ。**
nep kar yakka i=kay kane wa nepki.
何 する であっても (私を)おぶう しながら して 働く
- 6 **ムン ラタシケフ キナ ラタシケフ カラ コロ**
mun rataskep kina rataskep kar kor²
雑草 煮物 野草 煮物 作る しつつ
- 7 **ピリカ ウシケ イエレ コロ**
pirka uske i=ere kor
いい ところ (私に)食べさす しつつ
- 8 **オカアン ペ ネ ア フ,**
oka=an pe ne a p,
暮らす(私達) もの だったが
- 9 **タネ ポンノ ポロアニ オラノ アナクネ**
tane ponno poro=an hi orano anakne
今 少し 大きくなる(私) 時 それから は
- 10 **アサ イホツパ ノ エキムネ ランケ ワ**
a=sa i=hoppa no ekimne ranke wa
(私の)姉 (私を)残す して 山に行く 何度もする して
- 11 **オハシツ タ アナン ペ ネ ア フ,**
ohasir ta an=an pe ne a p,
留守の家 に いる(私) もの だったが
- [2]-1
0:34 **シネアンタ ソイネアン ヒネ ソイ タ**
sineanta soyne=an hine soy ta
ある時 外に出る(私) して 外 に
- 2 **アアン ヒネ アナン ルウェ ネ アクス,**
a=an hine an=an ruwe ne akusu,
座る(私) して いる(私) こと である したところ
- 3 **ペックシ ワ レ オッカヨ アーキバ ヒネ**
petkus wa re okkayo arkipa hine
川向こう から 三人の 男 来る して
- 姉がいて私たちは暮らしていたが、
- 姉はどういうわけか
- 泣いてばかりいて、そして
- 私をおぶって、
- 何をするのでも私をおぶったまま働いた。
- 雑草の煮物、野草の煮物を作っては
- おいしいところを私に食べさせて
- 暮らしていた。
- 今少し(私が)大きくなってからは、
- 姉はよく私を残して山へ行くようになり、
- 留守の家に私はいた。
- あるとき、私は外に出て
- 座っていると、
- 川向こうから三人の男が来て、

1; この話は姉弟の二人暮らし。こうした場合、たいていは夜盗、疫病によって村が滅びたことを言外に匂わせている(中川裕『アイヌの物語世界』参照)。

2; munは食べられない草、kinaは食べられる草をいうが、食べられないものまで食べた、というところに暮らしぶりが出ている。男手がないので、狩りをして肉をとってくる人間がないのである。

ただし、本田優子氏によると、トシさんは rataskep を「野草」の意味で使う場合があるとのこと。

- 4 トマム サラ オシマバ シリ イキ ヒ 葦原に隠れたのを
tomam sar osmapa siri iki hi
湿地 葦原 入る 様子 する こと
- 5 アヌカラ ヒ クス, オラ 見たので,
a=nukar hi kusu, ora
(私)見る なので そして
- 6 アサ イワク ヒ クス アイェ アクス, 姉が帰ってきてその話をする,
a=sa iwak hi kusu a=ye akusu,
(私の)姉 帰る なので (私)言う したところ
- 7 アサ チシ コロ エネ ハウエアニ。 姉は泣きながらこう言った。
a=sa cis kor ene hawean hi.
(私の)姉 泣く しつつ 次のように言った
- 8 「タネ パクノ エポロ ワ ネ ヤクン 「こうまでおまえが大きくなったのだから
“ tane pakno e=poro wa ne yakun
今 まで (お前)大きくなる して である ならば
- 9 アエパシクマ ナ。 わけを話しますよ。
a=e=paskuma na.
(私が・お前に)素性話をする よ
- 10 アイェ ヲ ネノ イキ ハニ」 私の言うとおりになさいね」
a=ye p neno iki hani³”
(私)言う もののように する しなさいね
- 11 セコロ ハウエアニ ヒ クス と言うので
sekor hawean hi kusu
と 言う だから
- 12 アエエセ ヒネ アナン アクス, うなずくと,
a=eese hine an=an akusu,
(私)同意する して いる(私) したところ
- 13 オラ エネ ハウエアニ。 (姉は) こう言った。
ora ene hawean hi.
そして 次のように言った
- [3]-1 「ナ エポニ タ 「おまえがまだ小さい頃,
1:15 “ na e=pon hi ta
まだ (お前)小さい 時 に
- 2 アエカイ カネ ヒネ キモシノタン クス (私はおまえをおぶって山へ遊びに)
a=e=kay kane hine kimosinot=an kusu
(私・お前)おぶう ままで して 山で遊ぶ(私) ために
- 3 アエカイ ヒネ シノタン クス おまえをおぶって遊びに
a=e=kay hine sinot=an kusu
(私・お前)おぶう して 遊ぶ(私) ために
- 4 キム タ ア=パアン パイエアン ヒネ オラ 山へ行って,
kim ta arpa=an⁴ paye=an hine ora
山 に 行く(私) 行く(私達) して そして
- 5 ホシピアン, タネ ホシピアン コタン カランケ 帰って, 村のすぐ近くに
hosipi=an, tane hosipi=an kotan karanke
帰る(私) 今やもう 帰る(私) 村 の近くに

3; hani は, 子供に優しく言いかけせるような場合に用いる。

4; arpa は単数形で「(一人が)行く」という意味になるため, 続けて paye 「(二人以上が)行く」と複数形で言い直し

ている。以下の2行でも, hosipi (単), arki (複) など, 単数・複数混在しているが, 本来は hosipi も hosippa と複数形になるべきところだろう。

- 6 アラキアン ルウェ ネ アクス, さしかかったところ,
ariki=an⁴ ruwe ne akusu,
来る(私達) こと である したところ
- 7 コタン オルン ウェン キマカウ アシ ワ 村で悲鳴がしたので,
kotan or un wen kimakaw as wa
村 の所へ ひどい 叫び声 立つ して
- [4]-1 オラ アオヤモクテ, トバットゥミ ヘネ おかしいな, 夜襲でも
1:43 ora a=oyamokte, topattumi⁵ hene
そして (私)いぶかしむ 夜襲 でも
- 2 エク ワ ネ クニ アラム ヒ クス 来たのだろうかと思って
ek wa ne kuni a=ramu hi kusu
来る して である と (私)思う だから
- 3 オラ ホロカ キラアン ヒネ アクス, 逆方向に逃げると,
ora horka kira=an hine akusu,
そして 逆方向に 逃げる(私) して したところ
- 4 オシンリッコメウケ チクニ, ポロ チクニ 根こそぎ倒れた木, 大きな木が
osinritkomewke⁶ cikuni, poro cikuni
根ごと倒れる 木 大きい 木
- 5 アン ヒ クス, ネ チクニ チョロボク あるので, その木の下に
an hi kusu, ne cikuni corpok
ある こと なので その 木 の下
- 6 アフナン ヒネ ヌイナクアニネ オカアン アイネ, 入ってずっと隠れていた。やがて
ahun=an hine nuynak=an hine oka=an ayne,
入る(私) して 隠れる(私) して いる(私達) したあげく
- 7 コタン オツ タ サパン ルウェ ネ アクス, 村に下りていくと,
kotan or ta sap=an ruwe ne akusu,
村 の所へ 下りる(私) こと である したところ
- 8 コタン オピッタ スプヤ サク ヒネ, オラ 村中の家の煙が消えていて,
kotan opitta supuya sak hine, ora
村 じゅう 煙 ない して そして
- 9 チサン コロ ケウピッテアン アクス, 泣きながら骸を改めてみると,
cis=an kor kew-piste=an⁷ akusu,
泣く(私) しつつ 骸を数える(私) したところ
- 10 アウタリ アナクネ オピッタ 村人は皆
a=utari anakne opitta
(私の)村の人達 は 皆
- 11 タネ ライ ワ オカ ルウェ ネ。すでに死んでしまっていた。
tane ray wa oka ruwe ne.
今では 死ぬ すでに~している こと である
- [5]-1 クンネ ヒネ オラ コロカ, (暗くなったけれど)
2:21 kunne hine⁸ ora korka,
暗くなる して そして けれど

5 ; 物語りの中に伝えられる, 村の侵略のこと。呪術を用い, 村人を皆殺しにして財宝を奪ってゆく。このお話は, トバットゥミに遭った村の生き残りが, よその村の協力を得て復讐を果たす筋立てだが, 聞き進むとわかるように, 最初トバットゥミの被害者だった側が, 復讐の段になるとやはりトバットゥミとなってよその村に攻め入ることになる。単純に善玉・悪玉の関係ではないようである。

6 ; o-sinrit-ko-mewke 「(場所)に・根・と共に・もげる」

7 ; kew-piste 「遺骸・の数をそろえる」

8 ; トシさんによると, kunne hineの部分は, 本来 nuynak=an hine 「私は隠れていたのだが」と言うべきところであった, とのこと。

- 5 エエ プ, ニサツタ エエ プ
e=e p, nisatta e=e p
(お前)食べる 物 明日 (お前)食べる 物 明日の食べ物を
- 6 アアヌ クス ネ ナ。
a=anu kusu ne na.
(私)置く つもり だ よ 置いておくよ。
- 7 ネ ワ アン ペ エエ ヤク ピリカ ナ」
ne wa an pe e=e yak pirka na”
今いったその物 (お前)食べる したら いい よ それを食べたらいいいよ」
- 8 セコロ イイエ コロ
sekor i=ye kor
と (私に)言う しつつ と言いながら
- 9 オヌマン イベ イエレ ヒネ
onuman ipe i=ere hine
夕方 食事 (私に)食べさす して 夕食を私に食べさせて、
- [7]-1 オラ チセ シッケウ タ シロウリ ヒネ,
3:19 ora cise sikkew ta sirowri hine,
そして 家 隅 に 穴を掘る して それから家の隅に穴を掘って
- 2 オロ イオマレ ヒネ オラ
oro i=omare hine ora
その所 (私を)入れる して そして そこに私を入れて、
- 3 イカ ムン クシテ ヒネ
i=ka mun kuste hine
(私の)上 草 かぶせる して 上から草をかぶせて、
- 4 アシク タクピ サラ ワ
a=sik¹¹ takupi sara wa
(私の)目 ばかり 開ける して 目(の)ところ)だけ開けて
- 5 インカラアン クニネ カラ ヒネ,
inkar=an kunine kar hine,
見る(私) するように 作る して 見えるようにして、
- 6 イカ ウン ムン ルラ ヒネ
i=ka un mun rura hine
(私の)上 に 草 運ぶ して 私の上に草を運んで
- 7 アナン ルウェ ネ アクス,
an=an ruwe ne akusu,
いる(私) こと である したところ (そこに)私はいた。
- 8 オラ アサ カ チシ コロ イベ カ キ ヒ
ora a=sa ka cis kor ipe ka ki hi
そして (私の)姉 も 泣く しつつ 食事 も する 事 そして姉も泣く泣く食事をとり
- 9 オカ アン アクス, オラノ チシ コロ
oka an akusu, orano cis kor
が終わる したところ それから 泣く しつつ 終え、涙ながらに
- 10 シノツチャキ ア シノツチャキ ア コロ,
sinotcaki a sinotcaki a kor,
歌を歌う (何度も) 歌を歌う (何度も)したところ 歌を何度も歌ったけれど、

11 ; 「シク」と聞こえるが、「目」は概念形がsik, 所属形がsiki(hi)で、「私の目」というときには所属形になり、a=sikiとなるべきところ。

- 11 シノツチャキ オロ オイタク ハウェ エネ アニ。 歌の文句はこうであった。
 sinotcaki oro oytak hawe ene an hi.¹²
 歌を歌うこと の中 に言う 声(言葉) こう ある こと
- [8]-1 「ヒナク ワ エク ペ アネ ルウェ アン、 「どこから来た私なのか、
 3:52 “ hinak wa ek pe a=ne ruwe an,
 どこ から 来た 者(私)である こと ある
- 2 エネ ウタラ カ サク アバ カ サク ヒネ このように同族もなく親戚もなしに
 ene utar ka sak apa ka sak hine
 このように 同族 も なく 親戚 も なく して
- 3 エネ オアラ シネン ネ アナン ヒケ カ たったひとりで暮らしていても、
 ene oar sinen ne an=an hike ka
 このように 全く 一人 として 暮らす(私) して も
- 4 ライ カ アコヤイクシ コロ 死ぬに死ねずに
 ray ka a=koyaykus kor
 死ぬ も (私)しづらい しつつ
- 5 エネ アナン ルウェ アン」¹³ このように暮らすことよ」
 ene an=an ruwe an ”
 このように 暮らす(私) こと だなあ
- 6 セコロ ハウエアン コロ アサハ チシ コロ と言って姉は涙ながらに
 sekor hawean kor a=saha cis kor
 と 言う しつつ (私の)姉 泣く しつつ
- 7 シノツチャキ コロ アン アクス、 歌っていたところ、
 sinotcaki kor an akusu,
 歌を歌う しつつ いる したところ
- [9]-1 ラボッケ アババ タ レ オッカヨ 戸口に三人の男が
 4:11 rapokke apapa ta re okkayo
 そのうち 戸口 に 三人の 男
- 2 タシロ エタムタララ カネ パ ヒネ 山刀をふりかざして来て(姉を)見つけ、
 tasiro etamtarara kane pa hine
 山刀 ふりかざす して 見つける して
- 3 アババ エウンエウンパ ヒネ オラ アサ エウン 戸口へ押し寄せて来て、姉に
 apapa euneunpa¹⁴ hine ora a=sa eun
 戸口 殺到する して そして(私の)姉 へ
- 4 「ソノ シネン ネ エアン ペ ネ ヤ？」 「本当に一人で暮らしているのか？」
 “ sonno sinen ne e=an pe ne ya? ”
 本当に 一人 として(お前)暮らす もの である か
- 5 コウエペケンヌ アクス、 アサ、 と尋ねると、姉は、
 kouepekennu akusu, a=sa,
 事情を尋ねる したところ (私の)姉
- 6 「ソノ シネン ネ アン ペ アネ クス 「本当に独り者なので、
 “ sonno sinen ne an pe a=ne kusu
 本当に 一人 として 暮らす もの(私)である ので

12; 今までは ene hawean hi だったが、その前の動詞句を受け
 するために hawe を前にもってきて語順が変化している。

13; アイヌの歌謡には、このように自分の心情を即興で歌詞
 にし、謡うものがあった。ここでの歌詞は、自分は一人
 で暮らしているという内容で、弟を助けるためにわざと
 いつわりを述べている。

14; euneun というのは、戸口からいっぺんに入ろうとして、
 体がつかえる様子。ちょっと漫画的な表現で、「間抜け
 な小悪党三人組」のイメージだが、少なくとも中のひとり
 りはたいした悪人ではなかったらしいことが話の最後に
 わかる。

- 7 アイライケ ヤク アイライケ ヤッカ 殺されるなら殺されるで
a=i=rayke yak a=i=rayke yakka
(人が・私を)殺す ならば (人が・私を)殺す であっても
- 8 ヤイキツニウケシ カ アキ カ ソモ キ ッ ネ ナ, 命を惜しみはしないよ。
yaykipniwkes¹⁵ ka a=ki ka somo ki p ne na,
「死ぬのはいやだ」 も (私)する も しない する もの だ よ
- 9 アイライケ ヤッカ ピリカ ナ」 殺せばいいさ」
a=i=rayke yakka pirka na”
(人が・私を)殺す であっても いい よ
- 10 セコロ アサ ハウエアン ルウェ ネ アクス, と言ったところ,
sekor a=sa hawean ruwe ne akusu,
と (私の)姉 言う こと である したところ
- [10]-1 オラ (シネ オッカヨ) トゥ オッカヨ 二人の男は
4:44 ora tu okkayo
そして 二人の 男
- 2 ウタシバ ウヌカラ ヒネ オラ 互いに顔を見合せて,
utaspa unukar hine ora
互いに 互いに見合う して そして
- 3 シネ オッカヨ エウン, ひとりの男に向かって,
sine okkayo eun,
一人の 男 へ
- 4 「タン メノコ エトゥラ ワ, 「この女を連れていって,
“ tan menoko e=tura wa,
この 女 (お前)連れてる して
- 5 ナ エシパロスケ メノコ カ イサムノ まだお前は飯炊き女もなしに
na e=siparosuke¹⁶ menoko ka isamno
まだ (お前)養わせる 女 も なしに
- 6 ブイネ エアン クス, ひとりでいるのだから,
puyne e=an kusu,
ひとりで (お前)いる ので
- 7 タン メノコ エトゥラ ワ エサン ワ この女を連れ帰って
tan menoko e=tura wa e=san wa
この 女 (お前)連れてる して (お前)下る して
- 8 エシパロスケ ルスイ ソモ キ ヤ?」 飯炊きにしたくないか?」
e=siparosuke rusuy somo ki ya? ”
(お前)養わせる したい しない する か?
- 9 セコロ コウエベケンヌ アクス, と尋ねると,
sekor kouepekennu akusu,
と 事情を尋ねる したところ
- [11]-1 「アシクヌレ ワ アトゥラ ワ 「生かして連れ帰って
5:10 “ a=siknure wa a=tura wa
(私)生かす して (私)連れてる して
- 2 アシパロスケ ヤッカ ピリカ ワ」 セコロ 飯炊きをさせてもいいよ」と
a=siparosuke yakka pirka wa” sekor
(私)養わせる であっても いい よ と

15 ; yeykipniwkes 「死ぬのはいやだ」(菅野辞典)。この一行についてトシさんは「寿命もいたましくないことだ」と。
16 ; siparosuke は辞書に見あたらぬ言葉だが, siparosukere

の形で「養フ・食事を任すこと」, aesiparosukere 「汝養ハル」と久保寺辞典にある。

- 3 シネ オッカヨ ハウェアン ルウェ ネ アクス, ひとりの男が答えた。そして
sine okkayo¹⁷ hawean ruwe ne akusu,
一人の 男 言う こと である したところ
- 4 「ヤクン アライケ ソモ キ ノ アトゥラ クス ネ」 「ならば殺さないで連れていくとしよう」
“ yakun a=rayke somo ki no a=tura kusu ne ”
ならば (私)殺す しない する して(私)運れる します
- 5 セコロ ハウェオカバ コロ と口々に言い,
sekor haweokapa kor
と 言う しつつ
- 6 アサ ウレンテック キシマ ワ ネ 姉の両手をつかんで
a=sa urentek kisma wa ne
(私の)姉 両手 つかむ して ?
- 7 エホトゥリトゥリパ コロ ソイェンバ, オラ 無理矢理連れ出した。そして
ehoturituripa kor soyenpa, ora
引っ張る? しつつ 外に出る そして
- [12]-1 アサ パラパラク コロ ソイネ ハウ 姉が泣く泣く連れられていく声を
5:29 a=sa paraparak kor soyne haw
(私の)姉 泣く しつつ 外に出る 声
- 2 アヌ コロ ヌイナクアン ペ ネ クス 私は聞きながら隠れていたものだから,
a=nu kor nuynak=an pe ne kusu
(私)聞く しつつ 隠れる(私) もの である ので
- 3 ソイネアン カ ソモ キ ノ アナン アイネ, ずっと外に出ずにいて, やがて
soyne=an ka somo ki no an=an ayne,
外に出る(私) も しない する して いる(私) したあげく
- 4 クネイワ ソイネアン ヒネ, ソンノ カ 朝, 外に出ると, (姉に)言われた通り
kuneywa soyne=an hine, sonno ka
朝 外に出る(私) して 聞いた通りに
- 5 ソイ タ ソイネアン, インカラアン アクス, 外に出て見てみると,
soy ta soyne=an, inkar=an akusu,
外 に 外に出る(私) 見る(私) したところ
- 6 ネ チクニ ウコウトウツ タ クネイワ アエフ その木の間に朝ごはんが
ne cikuni ukoutur ta kuneywa aep
その 木 の間 に 朝 食べ物
- 7 アン ヒ クス アエ カ キ ヒネ, オラ あったので食べ, それから
an hi kusu a=e ka ki hine, ora
ある だから (私)食べる も する して そして
- 8 ペツ サム タ サナン ヒネ 川のそばに行って,
pet sam ta san=an hine
川 そば に 下りる(私) して
- 9 ペテトクン カ ペットトゥン カ 川上や川下のほうを
petetok un ka petput un ka¹⁸
源 へ も 川尻 へ も
- 10 インカラアン コロ アナン ルウェ ネ アクス, 見ていると,
inkar=an kor an=an ruwe ne akusu,
見る(私) しつつ いる(私) こと である したところ

17 ; この男は, 物語の最後にも登場する。

18 ; petetokは「水源地」, petputは「川口」を言うが, unやwaがつくと方向を表す。

- [13]-1 6:04 **ペテトク ワ ネン カ アイヌ ヘネ ネ** 川上から誰か人間
petetok wa nen ka aynu hene ne
源 から 誰 が 人間 でも である
- 2 **ペコロ アン ペ サン シリ イキ ヒ クス** らしきものが下ってくるようなので
pekor an pe san¹⁹ siri iki hi kusu
かのような ある もの 下る 様子 する ので
- 3 **アヌカラ ヒネ アナン ルウェ ネ アクス,** 見ていると,
a=nukar hine an=an ruwe ne akusu,
(私)見る して いる(私) こと である したところ
- 4 **オッカヨ ネ ヒネ,** 男の人であって,
okkayo ne hine,
男 である して
- 5 **パシ カネ テレケ カネ アン ヒネ サニネ,** 一目散に走り下ってきて,
pas kane terke kane²⁰ an hine san hine,
走る して 跳ぶ して いる して 下る して
- 6 **イエタプツサレ カネ アン クル ネ ヒネ** それは片肌脱いだ男であって,
i=etaptusare²¹ kane an kur ne hine
(人に)片肌脱がせる して いる 人 である して
- 7 **エク ヒネ イサム タ エク ヒネ** 私のそばにやっけてきて,
ek hine i=sam ta ek hine
来る して (私の)そば に 来る して
- 8 **イルイルイバ コロ** 私をなでながら
i=ruyruypa²² kor
(私を)なでる しつつ
- 9 **ナニ イエタツカコモ テク ヒネ** すぐ私をさっと抱きあげて,
nani i=etapkakomo tek hine
すぐ (私を)肩に抱える 急に して
- 10 **オラ スイ ナニ ペツ トウラシ** またすぐ川に沿って上へ^{かみ}
ora suy nani pet turasi²³
そして また すぐ 川 に沿って上の方へ
- 11 **ホユブ ヒネ パイエアン アイネ,** さんざん走って行き、やがて
hoyupu hine paye=an ayne,
走る して 行く(私達) したあげく
- [14]-1 6:46 **「タネ イシカラ アオカリ ルウェ ネ,** 「今は石狩川を通過って,
tane iskar a=okari ruwe ne,
今 石狩川 (私)經由する こと である
- 2 **ユペツ オルン ラナン ルウェ ネ」** 湧別川に下っていくんだよ
yupet²⁴ or un ran=an²⁵ ruwe ne”
湧別 の所 へ 下る(私) こと である

19; sanは「(川下方向へ)行く/来る」。複数形はsap。川上方向へ行く時はarpaやekが使えるが、「(川下へ)行く/来る」にはこれらは使えない。

20; [13]-11にあるように、ふつう「走る」はhoyupuだが、「走ったり跳んだりしながら(一目散に)行く」という民話的なユーモラスな常套句である。

21; i=e-tap-tusa-re「人に・～でもって・肩・裸になる・させる」。トシさんによると、着物をきちっと着る暇もない程あわててやって来た様子という。男は夢か何かで事件について神の知らせを受け、少年を助けにやってきたのだらう。トシさんはkamuy renkayne「神の意志によって」と説明した。

22; 「～の両手をとってなでて喜びのあいさつをする」。田村辞典では、女性の挨拶のしかたのひとつ、としているが、ここでは原義どおり「なでなでする」ほどの意か。

23; 日本語だと「川沿いに」なのだが、アイヌ語では下上方向軸はturasi、上へ下へはpesと、使い分ける。

24; yupet 北見地方の集落、または湧別川のことと思われる。石狩川と源を接する。湧別川は本流のみで総延長84km、石狩川は268kmある。この姉弟の村は石狩川の上流に位置することが後半でわかるが、いずれにせよこの男は相当な距離を子供を抱えて走ったことになる。

25; ranは「上から下へ下がる、川の方へ行く」、rapはその複数形。

- 3 **セコロ ハウェアン コロ** と言いながら,
 sekor hawean kor
 と 言う しつつ
- 4 **ネ ユペツ オルン ラパン ヒネ,** 湧別川を下った。
 ne yupet or un rap=an²⁶ hine,
 その 湧別 の所 へ 下る(私達) して
- 5 **ポロ ペツ ネ ヒネ ペツ ペシ²⁷** 大きな川で、川に沿って下へ
 poro pet ne hine pet pes
 大きな 川 である して 川 に沿って下へ
- 6 **イエホユブ ヒネ サパン ルウェ ネ アクス,** 私を抱えて走り下っていくと,
 i=ehoyupu²⁸ hine sap=an²⁹ ruwe ne akusu,
 (私を)持って走る して 下る(私達) こと である したところ
- [15]-1 **インネ コタン アン ヒネ, コタン ノシキ タ** 大きな村があって、^{むらおさ}村長の家に
 7:04 inne kotan an hine, kotan noski ta
 人口の多い 村 ある して 村 真ん中 に
- 2 **ナニ イカイ ネノ アニネ アフン ヒネ アクス,** 早速私をおぶったまま入っていくと,
 nani i=kay neno an hine ahun hine akusu,
 すぐ(私を)おぶう したままで して 入る して したところ
- 3 **オンネ クル ルパネマツ アン アクス,** おじいさんとおばあさんがいて,
 onne kur rupnemat an akusu,
 年老いた 男 老女 いる したところ
- 4 **ネ オンネ クル テムニコロ ウン イアレ ヒ クス** おじいさんは私をひざの上に抱いて,
 ne onne kur temnikor³⁰ un i=are hi kusu
 その 年老いた 男 腕の中 へ(私を)座らせる ので
- 5 **ネ オンネ クル,** そのおじいさんは,
 ne onne kur,
 その 年老いた 男
- 6 **「アボホ, ヒナク ワ エネ アン ピリカ ポイソン** 「息子よ、どこからこんな可愛い子を
 “a=poho, hinak wa ene an pirka poyson
 (私の)息子 どこ から こんな よい 子供
- 7 **ヒナク ワ コロ ワ エク ルウェ アン?** 連れてきたのだ?」
 hinak wa kor wa ek ruwe an? ”
 どこ から 持つ して 来る こと ですか?
- 8 **セコロ ハウェアン コロ エアラキンネ** と言いながら、たいそう
 sekor hawean kor earkinne
 と 言う しつつ とても
- 9 **ネ オンネ クル イエヤイコブンテク コロ,** 私のことを喜ばば,
 ne onne kur i=eyaykopuntek kor,
 その 年老いた 男 (私を)喜ぶ すれば
- [16]-1 **ラボッケ ナニ ネア ルパネマツ** 一方、おばあさんはすぐに
 7:33 rapokke nani nea rupnemat
 その間 すぐ 件の 老女

26 ; rap は ran の複数形。

27 ; pet turasi の反対方向が pet pes。「川に沿って下へ」。

28 ; 「抱えて走る」と対訳したが、どんな格好でも持って走れば ehoyupu。[13]-9 では etapkakomo 「肩の上に抱える」とあり、[15]-2 では「おぶったまま」とあるので、訳しづらいところである。

29 ; sap は san の複数形。

30 ; 「腕の中(片腕または両腕で包むようにまたはかかえるように丸くした中)」(田村辞典)。

- 2 **ウセイ カラ ワ**
usey kar³¹ wa
湯 作る して
湯を沸かして、
- 3 **ナニ アオトピ トウイエ ネ ヤ**
nani a=otopi tuye ne ya
すぐ (私の)髪 切る など
早速私の髪を切ったり、
- 4 **アナヌ カラ ネ ヤ**
a=nanu kar³² ne ya
(私の)顔 拭く など
顔を拭いたり、
- 5 **ピリカ アミフ サンケ ヒネ イミレ。**
pirka amip sanke hine i=mire.
よい 着物 出す して (私に)着せる
きれいな着物を出して着せてくれた。
- 6 **エアラキンネ アエイコプンテク カ タ**
earkinne a=eyaykopuntek ka ta
とても (私)喜ぶ 上 に
とても私は嬉しかったのに、そのうえ
- 7 **オラ ピリカ スケ キ ヒネ**
ora pirka suke ki hine
そして よい 料理 する して
おいしい料理を作って
- 8 **ナニ アイペレ, イベアン カ キ。**
nani a=i=ipere, ipe=an ka ki.
すぐ (人が・私に)食べさせる 食べる(私) も する
すぐ私に食べさせてくれた。
- [17]-1 7.50 **エネ アン ピリカ アエフ アエ カ**
ene an pirka aep a=e ka
このように ある よい 食べ物 (私)食べる も
こんなにおいしいものは
- 2 **エラミシカリ ノ アン アアン セコロ**
eramiskari no an aan sekoro
したことがない で いる だったなあ と
食べたことがなかったなあと
- 3 **ヤイヌアン コロ イベアン コロカ,**
yaynu=an kor ipe=an korka,
思う(私) しつつ 食べる(私) けれど
思いながら食べたけれど、
- 4 **アサハ アエランポキウエン ケウトウム**
a=saha a=erampokiwen kewtum
(私の)姉 (私)可哀想に思う 気持ち
姉をかわいそうに思う気持ちを
- 5 **アコロ ヒケ カ エネ アイェ ヒ カ イサム。**
a=kor hike ka ene a=ye hi ka isam.
(私)持つ して も そのように (私)言う こと も ない
持ってはいても、それを口にはできない。
- 6 **アサ アン セコロ アイェ ヒ カ**
a=sa an sekoro a=ye hi ka
(私の)姉 いる と (私)言う こと も
姉がいると口に出すのも
- 7 **イシトマアン ペ ネ クス**
isitoma=an pe ne kusu
怖い(私) もの である ので
怖いので、
- 8 **モシマノ アナン ルウェ ネ アニネ,**
mosmano an=an ruwe ne an hine,
黙って いる(私) こと である いる して
黙っていたのだった。

31 ; karはこの場合「沸す」という意味で使われている。中川辞典には「カラの根本的な意味は『なにかに作用する』ということであると考えられる」と。

32 ; この場合のkarも注31と同じ意味で「拭く」と訳すことができる。

- [18]-1 8:09 **エアッキンネ ネ オンネ クル ウタラ** おじいさんたちはとても
earkinne ne onne kur utar
とても その 年離れた 男 達
- 2 **イオマフ ワ, シリクンネ コロ** 私を可愛がって、夜になると
i=omap wa sirkunne kor
(私を)可愛がる して 暗くなる すると
- 3 **イトウマム イコエウナラバ,** 私を取り合って抱いて寝,
i=tumam i=koewnarapa,³³
(私を)抱いて寝る (人に)取られまいとする
- 4 **イペアン クス ネ コロ ピリカ アエフ** 私が食事をしようとするとおいしい物を
ipe=an kusu ne kor pirka aep
食べる(私) しようとしている と よい 食べ物
- 5 **アパロホ パスイ アニ ヌムケ ワ パ ワ** 箸でより分け,
a=paroho pasuy ani numke wa pa wa
(私の)口 箸 で 選ぶ して 見つける して
- 6 **イエレ イエコエウナラ, オラ** 競って私に食べさせるし,
i=ere i=ekoewnara, ora
(私に)食べさせる (人に)取られまいとする そして
- 7 **ネ イカイ ワ サパン ア オッカヨ ネ ヤッカ** 私をおぶってきたあの男の人も
ne i=kay wa sap=an a okkayo ne yakka
その(私を)おぶう して 下る(私達) した 男 であつても
- 8 **ネノ イオマフ オラ ネノ アナン,** 同じように可愛がってくれる。
nenno i=omap ora nenno an=an,
同じように(私を)可愛がる そして そのように 暮らす(私)
- [19]-1 8:35 **ラポッケ オラ エネ ヤイヌアン ヒ,** やがて私はこのように思った。
rapokke ora ene yaynu=an hi,
そのうち そして このように 思う(私) こと
- 2 **アウヌ アオナ セコロ ヤイヌアン,** 自分の(本当の)両親と思い,
a=unu a=ona sekora yaynu=an,
(私の)母 (私の)父 と 思う(私)
- 3 **アユピ セコロ ヤイヌアン コロ** お兄さんと思って
a=yupi sekora yaynu=an kor
(私の)兄 と 思う(私) しつつ
- 4 **アナン ペ ネ クス** 暮らしているのです,
an=an pe ne kusu³⁴
いる(私) もの なので
- 5 **アオナ アウヌ アユピ セコロ ハウエアナン** お父さん, お母さん, お兄さんと呼ぶ
a=ona a=unu a=yupi sekora hawean=an
(私の)父 (私の)母 (私の)兄 と 言う(私)
- 6 **ペ ネ クス ポヘネ** ものだから, なおさら
pe ne kusu pohene
もの である ので なおさら
- 7 **イオマフ ロク イオマフ ロク コロ オカアン** 私を可愛がりに可愛がることだった。
i=omap rok i=omap rok kor oka=an,
(私を)可愛がる(何度も)(私を)可愛がる(何度も)しつつ 暮らす(私達)

33; 田村辞典には, ko-ewnara 「~に対して・与えるのをいやがる」とあるが, ewnara 自体はどの辞典にも未出。

34; 自分を可愛がってくれる人を本当の父, 母, 兄のように

思ったという意味。

- 8 **ラボク オラ ポロアニ オラ**
rapok ora poro=an hi ora
そのうち それから 大きくなる(私)時 それから
やがて、私は大きくなって、
- 9 **アユピ アトゥラ ワ エキムネアン コロ、**
a=yupi a=tura wa ekimne=an kor,
(私の)兄 (私)同伴する して 山に行く(私) すると
お兄さんについて山獺に行くと、
- 10 **アユピヒ ユク カ カムイ カ コロ、シケ コロ**
a=yupihī yuk ka kamuy ka kor, sike kor
(私の)兄 鹿 も 熊 も 持つ 荷を背負う しつつ
お兄さんは鹿や熊を獲ってそれを背負い、
- 11 **アカスイ ワ シケアン カ キ コロ**
a=kasuy wa sike=an ka ki kor³⁵
(私)手伝う して 荷を背負う(私) も する しつつ
私も運ぶのを手伝いながら
- 12 **イワカン コロ、**
iwak=an kor,
帰る(私) すると
帰ってくると、
- 13 **ポヘネ イエヘンコツパバ コロ オカアン。**
pohene i=ehenkotpapa kor oka=an
なおさら (私を)可愛がる しつつ 暮らす(私達)
いっそう私を可愛がってくれた。
- [20]-1 **ラボッケ スイ オンネ クル エネ ハウェアニ。**
9:06 rapokke suy onne kur ene hawean hi.
そのうち また 年老いた 男 次のように言った
そのうちまたおじいさんはこう言った。
- 2 **「タネ アコロ ソン アコロ ソン アコロ ソン**
“ tane a=kor son a=kor son a=kor son³⁶
今 (私)の 息子 (私)の 息子 (私)の 息子
「今は愛し子愛し子と
- 3 **セコロ イレコ コロ オカアン ペ ネ。**
sekor i=reko kor oka=an pe ne,
と (私を)呼ぶ しつつ いる(私達) もの である
呼んで暮らしているが、
- 4 **アコロ ソン タネ パクノ ポロ ワ ネ ヤクン**
a=kor son tane pakno poro wa ne yakun
(私)の 息子 今 まで 大きくなる して である ならば
息子もこんなに大きくなったので
- 5 **アコウエペケンヌ ヤ？」**
a=kouepekennu ya? ”
(私)事情を尋ねる か
わけを聞いてみようか？」
- 6 **セコロ ネ ヒネ イコウエペケンヌパ ヒ クス**
sekor ne hine i=kouepekennupa³⁷ hi kusu
と言う して (私に)事情を尋ねる ので
と言って私に事情を聞くので、
- [21]-1 **「タツネ カネ アサ トウラノ**
9:26 “ tapne kane³⁸ a=sa turano
このように (私の)姉 と一緒に
「かくかくしかじかで姉と一緒に
- 2 **オカアン ペ ネ ア フ、**
oka=an pe ne a p,
暮らす(私達) もの だったが
暮らしていたが、

35 ; この少年は、ものごころつく前にトバットウミに遭い、姉と二人きりになってしまったので、兄の手伝いをする
ことで初めて男性の仕事を経験し、身につけていったわけ
がある。

36 ; ここで言う「息子」とは、もちろん老人の実の息子のこ
とではなく、主人公の男の子のこと。互いに「おとうさ
ん」「私の息子」と呼び合っていたわけである。

37 ; -paは複数を示している。何度も尋ねられてやっと答え

ることができたということなのであろう。

38 ; ウエベケレ1でもそうであったように、以下は自分の生
い立ちから今までの経緯を繰り返して説明するくだりであ
る。

- 3 **アサ イカイ ワ エキムネ ヒネ オラ**
a=sa i=kay wa ekimne hine ora
(私の)姉 (私を)おぶう して 山に行く して そして
姉は私を背負って山に行き、
- 4 **コタン オッ タ サナン アクス、**
kotan or ta san=an akusu,
村 の所 に 下る(私) したところ
村に下りてみると、
- 5 **ウェン キマカウ アン ヒネ オラ**
wen kimak haw an hine ora
悪い 叫び 声 ある して そして
悲鳴がしたので
- 6 **スイ ヘトボ ホロカ キラアン ヒネ オラ**
suy hetopo horka kira=an hine ora
また 反対に 逆さに 逃げる(私) して そして
再び逃げ戻って、
- 7 **スイ サパン ルウェ ネ アクス、**
suy sap=an ruwe ne akusu,
また 下る(私達) こと である したところ
また村に下りてみると、
- 8 **アコタヌ スプヤ サク クス**
a=kotanu supuya sak kusu
(私の)村 煙 ない ので
村の家々の煙が消えているので、
- 9 **ケウピシテアン アクス、**
kew-piste=an akusu,
骸を数える(私) したところ
骸を数えてみると、
- 10 **オピッタ アウタリ アナクネ ライ ワ オカ。**
opitta a=utari anakne ray wa oka.
皆 (私の)仲間 は 死ぬ すでに~している
皆村の人達はすでに死んでいた。
- 11 **オナ ウタヲ カ ナ ネノ オカ**
ona utar ka na neno oka
父 達 も まだ 同じように いる
父達も同じ
- 12 **ルウェ ネ コロカ、オラ**
ruwe ne korka, ora
こと である けれど そして
であったけれど、
- [22]-1 **コタン オッ タ アナン カ イシトマアン クス** 村にいるのも恐いので
9:56 kotan or ta an=an ka isitoma=an kusu
村 の所 に いる(私) も 恐い(私) ので
- 2 **コタン カットウイマノ オカアン**
kotan kattuymano oka=an
村 から離れて 暮らす(私達)
村はずれに私達は住んでいた
- 3 **ルウェ ネ ア プ、**
ruwe ne a p,
こと だったが
のだが、
- 4 **『スイ ネプ カ オカ クナク ラムパ ワ**
'suy nep ka oka kunak ramupa wa
また 何 か いる と 思う して
『まだ誰がいるかと思って
- 5 **シサノンカラバ クス アラキバ**
sisanonkarpa kusu arakiba³⁹
様子を見に行く ために 来る
(夜盗の一味が)様子を見に来て

39 ; rampa, sisanonkarpa, arkipa, osmapaと、人称接辞がつかず
に-paがついた動詞が並んでいる。いずれも三人称複数
「彼ら」の行ったことであることを表しているが、arkiは

もともと複数形(単数形はek)なので、よりはっきり複
数であることを強調している。

- 6 トナム サラ オロ オシマパ ヒ ネ ナンコロ』 葦原に隠れているのだろう』
tomam sar or osmapa hi ne nankor'
湿地 葦原 の所 入る こと である だろう
- 7 セコロ アサ ハウェアン コロ チシ コロ と姉は言って、泣きながら
sekor a=sa hawean kor cis kor
と (私の)姉 言う しつつ 泣く しつつ
- 8 イヌイナ シロウリ ヒネ オロ タ 私を隠すために穴を掘り、そこに
i=nuyna sirowri hine oro ta
(私を)隠す 穴を掘る して その場所で
- 9 イオマレ ワ イヌイナ ヒネ ラポッケ 私は隠れていた。そうしているうちに、
i=omare wa i=nuyna hine rapokke
(私を)入れる して (私を)隠す して いるうちに
- [23]-1 アサ、シリクンネ アクス、オッカヨ ウタラ、 暗くなると、姉は男達、
10:21 a=sa, sirkunne akusu, okkayo utar,
(私の)姉 暗くなる したところ 男 達
- 2 レ オッカヨ アーキパ エホトゥリトゥリパ ヒネ 三人の男が来てひきずって
re okkayo arkipa ehoturituripa hine
三人の 男 来る 引きずる して
- 3 トウラ ワ パイエパ ワ イサム オカ タ 連れていってしまったあとに
tura wa payepa wa isam oka ta
運れる して 行く して しまう あと に
- 4 アナン ルウェ ネ アクス、 私が残されたのだった。
an=an ruwe ne akusu,
いる(私) こと である したところ
- 5 クネイワ、ペツ サム タ アナン アクス、 翌朝、私が川のほとりにいたところに
kuneywa, pet sam ta an=an akusu,
朝 川 のそば に いる(私) したところ
- 6 アユピ サン ワ イパ ワ お兄さんが川上から来て私を見つけ、
a=yupi san wa i=pa wa
(私の)兄 下る して (私を)見つける して
- 7 エカン ペ アネ ルウェ ネ コロカ、 ここに来ただけけれど、
ek=an pe a=ne ruwe ne korka,
来る(私) もの (私)である こと である けれど
- 8 アサ アン セコロ ハウェアナン カ 姉がいると口にするのも
a=sa an sekor hawean=an ka
(私の)姉 いる と 言う(私) も
- 9 イシトマアン ワ アサ オルシペ 恐いので、姉のことを
isitoma=an wa a=sa oruspe
恐い(私) して (私の)姉 のこと
- 10 アイェ カ ソモ キ ノ アナン ルウェ ネ」 言わないでいたのですよ」
a=ye ka somo ki no an=an ruwe ne"
(私)言う も しらない する して いる(私) こと である
- 11 セコロ ハウェアン ルウェ ネ。 と言ったのである。
sekor hawean ruwe ne.
と 言う こと である
- [24]-1 エアキネ ネ オンネ クル ウタラ たいそうその老人たち
10:49 earkinne ne onne kur utar
とても その 年離れた 人 達

- 2 **ネ ヤッカ イオクヌレ。** も驚いた。
 ne yakka iokunnure.
 であっても 驚く
- 3 「**イシカラ エトコ ウン トパットゥミ アラキ ワ**」 「石狩の源に夜襲が来て、
 “ iskar etoko⁴⁰ un topattumi arki wa
 石狩 源 に 夜襲 来る して
- 4 **コタン アアルシテッカ ヤク アイェ ヒ** 村が滅ぼされたということ
 kotan a=arustekka yak a=ye hi
 村 (人が)滅ぼす と (人が)言う こと
- 5 **アナクネ アヌ コロ アナン アクス、** は聞いていたが、
 anakne a=nu kor an=an akusu,⁴¹
 は (私)聞く しつつ いる(私) したところ
- 6 **ヤクン イシカラ エトクン ニシパ サンテケヘ** ならば石狩の源の旦那さんの子孫
 yakun iskar etok un nispa santekehe
 ならば 石狩 源 の 旦那 子孫
- 7 **ネ ルウェ ネ」** なのだな」
 ne ruwe ne ”
 である こと である
- 8 **ネ オンネ クル ハウエアン コロ** そのおじいさんは言って、
 ne onne kur hawean kor
 その 年老いた 人 言う しつつ
- 9 **イクムヌ ハウコカリ コロ オカアン ラポッケ** 「可哀想に」と何度も繰り返した。やがて
 i=kemnu hawkokari kor oka=an rapokke
 (私に)同情する 何度も言う しつつ いる(私達) そのうち
- 10 **オラ スイ エネ オンネ クル ハウエアニ。** おじいさんはこうも言った。
 ora suy ene onne kur hawean hi.
 そして また 次のように 年老いた 男 言った
- [25]-1 「**タネ パクノ アコロ ソン ポロ ワ ネ ヤクン**」 「息子も今では大きくなったのだから
 11:18 “ tane pakno a=kor son poro wa ne yakun
 今 まで (私)の 息子 大きくなる して である ならば
- 2 **トゥナシノ ネ イシカラ プトゥン サッ ワ** 急いでその石狩の河口に下り、
 tunasno ne iskar put un sap wa⁴²
 早く その 石狩 河口 へ 下る して
- 3 **トパットゥミ ヤイエイモンタサバ クス** 夜襲の敵討ちをしに
 topattumi yayeimontasapa kusu
 夜襲 敵討ちする するために
- 4 **エチサッ ヤク ピリカ。** 行ったらいい。
 eci=sap yak pirka.
 (お前達)下る したら いい
- 5 **ネイ タ カ ネ イサネ メノコ** どこかでその姉である女が
 ney ta ka ne isane menoko
 どこかで その 姉である 女
- 6 **シクヌ ワ アン クニ ペコロ ヤイヌアン クス、** 生きているような気がするので、
 siknu wa an kuni pekor yaynu=an kusu,
 生きる して いる と かのよう(私) 思う(私) ので

40；夜襲にあった村は石狩川上流の村であることがわかる。

41；少年の村を襲った夜襲の噂は、遠く湧別まで及んでいたものであった。

42；ここに至って、襲った村と襲われた村が同じ石狩川の下流と上流に位置していたことがわかる。

- 7 **トゥナシノ (エチ) ネ イサネ メノコ** 急いでその姉である女を
 tunasno (eci=) ne isane menoko
 早く その 姉である 女
- 8 **エチフナラバ トゥライラム** 探して,
 eci=hunarapa turayramu⁴³
 (お前達)探す すると同時に
- 9 **ネ コタン ウェンテバ クス** その村を攻めに
 ne kotan wentepa kusu
 その 村 荒す ために
- 10 **サッパ ヤク ピリカ ナ」** 行ったらしい」
 sappa yak pirka na[”]
 下る したら いい よ
- [26]-1 **セコロ ネ ユベトゥン アオナハ ハウエアン** とその湧別の父が言う
 11:48 sekor ne yupet un a=onaha hawean
 と その 湧別 の (私の)父 言う
- 2 **ペ ネ クス, オラ アユピ ウタラ,** ので, 兄達
 pe ne kusu, ora a=yupi utar,
 もの なので そして (私の)兄 達
- 3 **コタン コロ ウタラ, トゥマシヌ ウタラ** 村人達, 力自慢の人達を
 kotan kor utar, tumasnu utar
 村 の 人達 丈夫である 人達
- 4 **シレンバ ヒネ インネ ウタラ ネ ヒネ** 引き連れて, 大勢で
 sirenpa hine inne utar ne hine
 連れる して 大勢の 人達 になる して
- 5 **(サパン) パイエアン ヒネ,** 歩を進め,
 (sap=an) paye=an hine,
 行く(私達) して
- 6 **ネ イシカツ タ パイエアン ルウェ ネ コロカ,** その石狩に行った。けれど
 ne iskar ta paye=an ruwe ne korka,
 その 石狩 に 行く(私達) こと である けれど
- 7 **アユプタリ アナクネ キム タ ヌイナク ワ オカ** 兄達は山に隠れていて,
 a=yuputari anakne kim ta nuynak wa oka
 (私の)兄達 は 山 に 隠れる して いる
- 8 **ラボッケ ヤイアッカシテアン コロ** 私をひとりで行かせて
 rapokke yayapkaste=an kor
 そのあいだ 一人で行かせる(私) すると
- 9 **プイネ アッカサン ルウェ ネ アクス,** ひとりで歩いていくと,
 pyune apkas=an ruwe ne akusu,
 一人で 歩く(私) こと である したところ
- [27]-1 **シネ チセ アン ヒ クス, ネ チセ** 一軒の家があって, その家
 12:12 sine cise an hi kusu, ne cise
 ひとつ 家 ある ので その 家
- 2 **オルン アフナン ルウェ ネ アクス,** に入ると,
 or un ahun=an ruwe ne akusu,
 の所 に 入る(私) こと である したところ

43; トシさんによると, turayramuは「一緒に」という意味になるそうである。

- 3 アペハラキソ ワ カ シネン ホツケ ワ アン, 客座にひとり寝ている,
ape-harkiso wa ka sinen hotke wa an,
左座 から も 一人 寝る して いる
- 4 アペエトク タ カ シネ オッカヨ 横座にもひとりの男が
apeetok ta ka sine okkayo
横座 に も 一人の 男
- 5 ホツケ ヒネ オカ ルウェ ネ ヒネ, 寝ていて,
hotke hine oka ruwe ne hine⁴⁴,
寝る して いる こと である して
- 6 オロ タ アフナン ルウェ ネ アクス, そこへ入っていったところ,
oro ta ahun=an ruwe ne akusu,
その中に 入る(私) こと である したところ
- 7 トゥサプイカリ ヘ アフナン ヒ 身八つ口から(見て)私が入るのが
tusapuykari⁴⁵ he ahun=an hi
身八つ口から が 入る(私) こと
- 8 エラムアン ワ ヘ イヌカラ ルウェ ネ わかったのか、私を見る者がある。
eramuan wa he i=nukar ruwe ne
わかる して か (私を)見る こと である
- 9 アクス, アサ ネ ヒネ, それは私の姉であった。
akusu, a=sa ne hine,
したところ(私の)姉 である して
- [28]-1 「アアキ ソモ ネ」セコロ ネ。 「弟じゃないのか」と姉は言い,
12:38 “a=aki somo ne” sekor ne.
(私の)弟 でないか と言った
- 2 「アサ」セコロ ハウエアナン コロ 「姉さん」と私は言って,
“a=sa” sekor hawean=an kor
(私の)姉 と 言う(私) しつつ
- 3 イルイルイバ コロ パラバラク ア コロカ, 姉は私を撫でては泣いたけれど,
i=ruyruypa⁴⁶ kor paraparak a korka,
(私を)なでる しつつ 泣く した けれど
- 4 パラバラク ハウ カ (気づかれてはいけないので)泣き声を
paraparak haw ka
泣く 声 も
- 5 アキ カ エアイカツ ペ ネ クス たてることもできないので,
a=ki ka eaykap pe ne kusu
(私)する も できない ものである ので
- 6 「タプネ カネ ワ ヤイエイモンタサアン クス 「かくかくしかじかで仕返しに
“tapne kane wa yayeymontasa=an kusu
このように して 仕返しする(私) ために
- 7 アラキアン ワ 来て,
arki=an wa
来る(私達) して

44; 姉をさらって行った男たちは三人組だったはずだが、ここでは二人しか登場しない。残る「ひとりの男」の方は別の役回りが最後に待っているのです、こういう愁嘆場には登場させないということが。

45; 「トゥサプイカリ」と発音しているが、後日トシさんに同じ箇所を語ってもらったところ、「トゥサプイカリ」と発音した。tusapuykari「身八つ口から」は、着物を頭からかぶってふさぎ込んでいて、その身八つ口(着物の

袖付けの下)から見た、ということ。

46; 注22参照。ここはおそらく、文字通りの「女性のあいさつの仕方」だろう。ウルイルイエとも言う。

- 8 **アウタリ ヌイナク ワ オカ ヒ ネ**」
a=utari nuynak wa oka hi ne”
(私の)仲間 隠れる して いる こと だよ
私の仲間が隠れているんだ」
- 9 **ヒ アイェ ヲ ネ クス,**
hi a=ye p ne kusu,
こと (私)言う もの なので
と言うと
- [29]-1 **オラ アサハ カ エヤイコブンテク コロ**
13:04 ora a=saha ka eyaykopuntek kor
そして (私の)姉 も 喜ぶ しつつ
姉も喜んだ
- 2 **ネ コロカ, オラ ホブニ ヒネ**
ne korka, ora hopuni hine
である けれど そして 立つ して
けれど、それから立ちあがって
- 3 **シピネ カ キ ヒネ オカアン,**
sipine ka ki hine oka=an,
身支度 も する して いる(私達)
身支度をしたりしていた。
- 4 **ラボッケ タネ シリクンネ ヒ オラ**
rapokke tane sirikunne hi ora
そのうち 今 暗くなる 時 そして
やがて暗くなってから
- 5 **アユウタリ アラキバ ヒネ**
a=yuputari arkipa hine
(私の)兄達 来る して
兄達がやってくる、
- 6 **ネ コタン オルン サパン ヒネ オラノ**
ne kotan or un sap=an hine orano
その 村 の所 に 下る(私達) して そして
その村に下りてきて、それから
- 7 **アユウタリ イノンノイタク コロ オカ ラボッケ**
a=yuputari inonnoytak kor oka rapokke
(私の)兄達 祈る しつつ いる そのうち
兄達が祈りを捧げているあいだに
- [30]-1 **コタンバ ワ コタンケシ ワ**
13:26 kotanpa wa kotankes wa
村の上端 から 村の下端 から
村の上端、下端から
- 2 **ケム タク トウルセ シリ イキ アナクネ**
kem tak turse⁴⁷ siri iki anakne
血 塊 落ちる 様子 する は
血の塊が(飛び上がって)落ちた様子で、
- 3 **「タネ ピリカ ルウェ ネ」**
“ tane pirka ruwe ne”
今 よい とき である
「もういいぞ」
- 4 **ヤク イェバ コロ**
yak yepa kor
と 言う しつつ
と言いあって
- 5 **コタン オルン サッパ ルウェ ネ アクス,**
kotan or un sappa ruwe ne akusu,
村 の所 に 下る こと である したところ
村に下りていくと、
- 6 **「ウコエトロトルパ コロ オカ ルウェ ネ」**
“ ukoetoroturpa kor oka ruwe ne”
皆でいびきをかく しつつ いる こと である
「皆いびきをかいているぞ」

47 ; kotanpa wa ~ kemtak turse 「topattumi が相手部落を襲う前に村人全員をぐっすり寝込ませるために行う巫術」(1983, 『人々の物語』p.160, アイヌ無形文化伝承保存会)

この場面で、主人公の少年や湧別の村人たちは、ただの仕返しに来たのではなく、トパットウミとして石狩に来たことがわかる。

- 7 ヤク イェバ コロ オラノ
yak yepa kor orano
と 言う しつつ そして
と言いあって、
- 8 セウリ トウイェバ コロ
sewri tuyepa kor
喉 切る しつつ
喉を切って、
- 9 シネ チセ シネ チセ タ
sine cise sine cise ta
一つ 家 一つ 家 に
一軒一軒
- 10 セウリ トウイェバ コロ ヤク 「オピッタ、
sewri tuyepa kor yak “ opitta,
喉 切る しつつ すると 皆
喉を切って、そうして「だれもかれも皆、
- 11 オカ ウタラ オピッタ アライケ ルウェ ネ」
oka utar opitta a=rayke ruwe ne”
いる 人達 皆 (私)殺す こと である
いる者残らず殺したぞ」
- 12 ヤク イェバ コロ アラキバ ルウェ ネ ヒネ、
yak yepa kor arkiba ruwe ne hine,
と 言う しつつ 来る こと である して
と言いながら来て、そして
- [31]-1 アサ ウニヒ ネ アン ウッケ タ
13:58 a=sa unihi ne an uske ta
(私の)姉 家 として ある 所 に
姉の家であるところに
- 2 アラキアンバ ネ ヒネ、オラノ
arki=an-pa⁴⁸ ne hine, orano
来る(私達) である して そして
到着した。
- 3 アサ チシ コロ イコブンテク ネ ヤ
a=sa cis kor i=kopuntek ne ya
(私の)姉 泣く しつつ (私を)喜ぶ など
姉は泣いて喜んだり、
- 4 イケウェ ホムス ネ ヤ
i=kewe homsu⁴⁹ ne ya
(私に)無事を祝う など
無事を祝ったり、
- 5 ユペトゥン クル エウン アサ ヤイライケ ヒ
yupet un kur eun a=sa yairayke hi
湧別 の 人 に (私の)姉 感謝する こと
湧別の人達に姉はお礼の言葉
- 6 イェ ア イェ ア コロ オロ タ オカアニネ、
ye a ye a kor oro ta oka=an hine,
言う(何度も)言う(何度も)しつつ その場所で いる(私達)して
何度も何度も言いながら過ごした。
- [32]-1 イシムネ オラ
14:17 isimne ora
翌日 そして
翌日、
- 2 コタン オツ タ アサ カ トウラノ サパン クス
kotan or ta a=sa ka turano sap=an kusu
村 の 所 に (私の)姉 も 一緒に 下る(私達) ので
村に姉も一緒に下りていき、

48 ; arkiは複数形の自動詞で、これに更に複数を表す-pa「何人もで/何回も」がついているのだが、-paが-anの前に来る動詞と、-paの後に来る動詞がある。arkiの場合は後者。

49 ; 田村辞典には「～に危なかったことの見舞いを言う」とあるが、中川辞典には「(神)に向かって、恐ろしい目にあった人の無事を祝い、魔を払うための儀式を行う」とある。「無事を祝う」というより、もっと強い意味が含まれているのかもしれない。

- 3 **アサ アナクネ アオナハ コロ ワ オカイ ペ** 姉は父の持ち物を
a=sa anakne a=onaha kor wa okay pe
(私の)姉 は (私の)父 持つ して いる もの
- 4 **キリ ペ ネ クス,** 見覚えていたので,
kir pe ne kusu,
見覚えがある もの なので
- 5 **アオナハ コロ ワ オカイ ペ** 父の持ちものを
a=onaha kor wa okay pe
(私の)父 持つ して いる もの
- 6 **オピッタ アウオマレ ヒネ オラノ** 全部集めて
opitta a=uomare hine orano⁵⁰
皆 (私)集める して そして
- 7 **アウタリ トウラノ アセ ヒネ アラキアン ヒネ** 仲間達と背負って来て,
a=utari turano a=se hine arki=an hine
(私の)仲間 一緒に (私)背負う して 来る(私達) して
- 8 **ネア アウエンテ ア コタン オツ タ** かつて滅ぼされた村に
nea a=wente a kotan or ta
その (人)荒らす した 村 の所 に
- 9 **アラキアン ヒネ, コタン オツ タ** 来て, 村で
arki=an hine, kotan or ta
来る(私達) して 村 の所 に
- 10 **アペアリ ヒネ スケアン ワ** 火を焚いて料理し,
apeari hine suke=an⁵¹ wa
火を焚く して 料理する(私) して
- 11 **アエツ ネ ヤッカ ピリカ ヒ** 食べ物もよいものを
aep ne yakka pirka hi
食べ物 であっても よい もの
- 12 **ポロンノ アセ ヲ ネ クス, オロ タ,** たくさん背負っているのです, そこで
poronno a=se p ne kusu, oro ta,
たくさん (私)背負う もの なので その場所で
- [33]-1 「カムイ トッカーリ エオツ ワ アウタリ」 「(成仏できずに)神の手前に同族達が」
14:47 “ kamuy tukari eot wa a=utari
神 の手前 に赴く して (私の)同族
- 2 **オピッタ オカ ルウェ ネ ナンコン ナ。** みんないることでしょう。
opitta oka ruwe ne nankor na,
皆 いる こと である でしょう ね
- 3 **テワノ ボカ** これからでも
tewano poka
これから でも
- 4 **カムイ エウタンネバ ヤク ピリカ ナ」** 神の仲間になってください」
kamuy eutannepa⁵² yak pirka na”
神 仲間になる したら いい よ
- 5 **セコロ アユプタリ ハウエオカバ コロ** と兄達が言って,
sekor a=yuputari haweokapa kor
と (私の)兄達 言う しつつ

50 ; 以前しかけられた夜襲のときに奪われたものを取り返す
くだりである。

51 ; 儀式の準備をする様子。

52 ; e-utar-ne-pa 「(場所)で・仲間・になる・(複数)」

- [35]-1 「ネン ボカ イキ ワ アアキヒ シクヌ ワ ネ 「どうにかして、弟が生きていてさえ
15:39 “ nen poka iki wa a=akihi siknu wa ne
なんとか する して (私の)弟 生きる して である
- 2 ヤク アオナハ サンテケヘ シトゥリ クス ネ くれれば、父の血筋を続けられます。
yak a=onaha santekehe situri kusu ne
したら (私の)父 子孫 伸ばす でしょう
- 3 アウタリ オピッタ アアルシテッカ ワ 村人が皆滅ぼされて、
a=utari opitta a=arustekka wa
(私の)仲間 皆 (人が)滅ぼす して
- 4 アアキヒ アヌペコレス ヲネ ア ヲ, 弟を泣きながら育てていたけれど、
a=akihi a=nupekoresu p ne a p,
(私の)弟 (私)涙を流しながら育てる もの だったが
- 5 エネ ニシバ アン クスケライボ エネ アン 旦那さんがいたおかげで、こんな
ene nispa an kuskeraypo ene an
このように 旦那 いる おかげで こんな
- 6 ピリカ スクッ オンネ エトク タ アキ」 立派な姿を死ぬ前に見られたのです」
pirka sukup onne etok ta a=ki”
よい 成長 年老いて死ぬ の前 に (私)する
- 7 セコロ ハウエアン コロ と言って
sekor hawean kor
と 言う しつつ
- 8 エヤイコブンテック コロ オカアン ラボッケ オラ 喜んでいると、やがて
eyaykopuntek kor oka=an rapokke ora
喜ぶ しつつ いる(私) そのうち そして
- 9 (ネ オンネ クル エネ ハウエアニ。エネ...) (湧別の父はこう言った)
(ne onne kur ene hawean hi. ene...)
その 年老いた 男 次のように言った
- 10 ネア イシカツ タ トウラノ アン ア オッカヨ, 例の石狩で(姉と)一緒に暮らしていた男,
nea iskar ta turano an a okkayo,
件の 石狩 に 一緒に いる した 男
- 11 シネ オッカヨ, トウラ ワ サナン オッカヨ ひとりの男, 姉を連れて下った男が
sine okkayo, tura wa san=an okkayo⁵⁴
一人 男 連れる して 下る(私) 男
- 12 エネ ハウエアニ。 こう言った。
ene hawean hi.
次のように言った
- [36]-1 「アシパロスケ クナク アラム コロ 「飯炊きをさせようと思って
16:18 “ a=siparosuke kunak a=ramu kor
(私)養う と (私)思う しつつ
- 2 アトゥラ ア コロカ, 連れてきたけれど、
a=tura a korka,
(私)を連れる した けれど
- 3 エネ チシ コロ パテック アン ペ ネ クス, このように泣いてばかりいるので
ene cis kor patek an pe ne kusu,
このように 泣く しつつ ばかり いる もの なので

54 ; この一緒に来た男性は、姉を飯炊きにするといって連れていった張本人らしいが、その後姉に同情して、無理強いをせず姉を大切にしてくれていたらしい。

- 4 **アシパロスケレ ワ マッ ネ アコロ** 私が養って妻にしよう
 a=siparosukere⁵⁵ wa mat ne a=kor
 (私)養う して 妻 として (私)持つ
- 5 **セコロ カ アイェ カ アケムヌ ワ ネクス,** というのも気の毒なので,
 sekor ka a=ye ka a=kemnu wa nekusu,
 と も (私)言う も (私)同情する して なので
- 6 **マッ ネ アコロ カ ソモ キ ノ** 妻にもしないで,
 mat ne a=kor ka somo ki no
 妻 として (私)持つ も しない する して
- 7 **エネ チシ コロ ヘムイムイェ アン ペ ネ クス,** このように泣き伏しているの
 ene cis kor hemuymuye an pe ne kusu,
 このように 泣く しつつ 伏せる いる もの なので
- 8 **ネン ボカ イキ ワ シクヌアン ラボッケ** なんとかして私が生きている間に,
 nen poka iki wa siknu=an rapokke
 何とか する して 生きる(私) そのうち
- 9 **アキヒ アン ペ ネ ヤク イェ クス** 弟がいると言うので
 akihi an pe ne yak ye kusu
 弟 いる もの である と 言う ので
- 10 **フナラ クナク アラム コロ アナナ フ,** その弟を探そうと思っていたが,
 hunara kunak a=ramu kor an=an a p,
 探す と (私)思う しつつ いる(私)だったが
- 11 **ネ メノコ フナラ ワ** (弟が)その女を探して,
 ne menoko hunara wa
 その 女 探す して
- 12 **アアキヒ トゥラノ オカ エアシカイ アニ アン,** 弟と一緒に暮らせるのだな」
 a=akihi turano oka easkay an hi an ”
 (私の)弟 一緒に いる できる ある こと ある
- 13 **セコロ ハウエアン コロ エヤイコブンテク ヒ,** と言って喜んで,
 sekor hawean kor eyaykopuntek hi,
 と 言う しつつ 喜ぶ こと
- [37]-1 **ナニ コンド ネ メノコ,** すぐにその女と,
 16:57 nani konto ne menoko,
 すぐ こんど その 女
- 2 **アサ トゥラノ オンネ クル カ,** 姉と一緒に年をとった男,
 a=sa turano onne kur ka,
 (私の)姉 一緒に 年をとる 男 も
- 3 **ネ オッカヨ カ アエランボキウエン クス,** その男も哀れなので,(二人のために)
 ne okayo ka a=erampokiwen kusu,
 その 男 も (私)かわいそうに思う ので
- 4 **オラ ナニ チセカラン ヒネ** すぐに家を作って,
 ora nani cise-kar=an hine
 そして すぐに 家を作る(私) して
- 5 **シンナ チセカラン ヒネ** 別に家を作って,
 sinna cise-kar=an hine
 別な 家を作る(私) して

55 ; siparosuke 「食わせてもらう」と言って連れていったのに, siparosukere 「食わせる」はめになった。語形の上からも、立場が逆転している。また、女の弟を探してやる

うと思っていたのに、弟に先に探し出されたりと、この男は物語中でのちょっとした道化役なのかもしれない。

- 6 **オロ タ アサ エウン アヌヌケ。**
oro ta a=sa eun a=nunuke.
そこ で (私の)姉 に (私)大切に
そこで姉に孝行した。
- 7 **ネ シリキララ, イレス ボカ エヤイコラムペテツネ**
ne sirkirap, i=resu poka eyaykoram-petetne⁵⁶
その 苦労 (私を)育てるのに苦労する
その(姉の)苦労, 私を育てるのにも
- 8 **ペコロ ヤイヌアン ペ ネ クス,**
pekor yaynu=an pe ne kusu,
ように 思う(私) もの なので
苦労しただろうと思ったので
- 9 **アピリカヌヌケ コロ オカアン。**
a=pirkanunuke kor oka=an.
(私)よく面倒をみる しつつ 暮らす(私達)
よく面倒をみて暮らした。
- [38] -1 **ラボツケ, ネ イレス (アコロ...)**
17.22 rapokke, ne i=resu (a=kor)
そのうち その (私を)育てる
やがて私を育ててくれた
- 2 **アオナ カ アウヌ カ イサム オカ タ**
a=ona ka a=unu ka isam oka ta
(私の)父 も (私の)母 も いなくなる 後 に
父も母も(年老いて)死んだ後に
- 3 **アユビヒ カ オラ エアシリ**
a=yupihhi ka ora easir
(私の)兄 も そして 初めて
兄も初めて
- 4 **マツ コロ(ワ)カ キ ワ, アユビヒ カ**
mat kor (wa) ka ki wa, a=yupihhi ka
妻 持つ して も する して (私の)兄 も
奥さんをもらって, 兄が
- 5 **ボカ ポ コロ シリ カ アヌカラ オラ,**
poka po kor siri ka a=nukar ora,
やっ と 子供 持つ 様子 も (私)見る そして
やっ と子供を持った様子も見て,
- 6 **アサハ カ オンネ シリ カ アヌカラ コロ**
a=saha ka onne siri ka a=nukar kor
(私の)姉 も 老死する 様子 も (私)見る しつつ
姉が年老いて死んだ様子も見て,
- 7 **ヤイカタ カ タネ**
yaykata ka tane
自分 も 今
自分も今や
- 8 **アボホ ウタラ カ ルフネ ワ**
a=poho utar ka rupne wa
(私の)子供 達 も 大人になる して
子供達も大人になって
- 9 **オンネアン ルウェ ネ コロカ,**
onne=an ruwe ne korka,
老死する(私) こと である けれど
私は年老いて死んでいくのだけれど,
- [39] -1 **アツパケ ワノ**
17.51 atpake wano
最初 から
はじめから
- 2 **ユペトゥン クル アネ ルウェ カ ソモ ネ,**
yupet un kur a=ne ruwe ka somo ne,
湧別 の 人 (私)である こと も ない である
私は湧別の人間だったのではない。

56 ; resu poka eyaykoram-petetne 「~を育てるのに苦労する」
(慣用句)

- 3 **イシカラ ワ エカン ペ アネ ルウェ ネ クス** 石狩から来たものなので、
 iskar wa ek=an pe a=ne ruwe ne kusu
 石狩 から 来る(私) もの (私)である こと である ので
- 4 **アポウタリ, シトゥムカネレ ソモ キ ノ** 子供たちよ、でしゃばることなく、
 a=poutari, situmukanere⁵⁷ somo ki no
 (私の)子供達 でしゃばる しない する して
- 5 **ユベトゥン クン ネ イヨロツ ヤク ピリカ ナ,** 湧別の人と暮らすのだよ、
 yupet un kur ne iyorot yak pirka na,
 湧別 の 人 として 人と交わる したら いい よ
- 6 **セコロ シネ オッカイボ イソイタク セコン ネ。** とひとりの男が物語った、ということだ。
 sekor sine okaypo isoytak sekor ne.
 と 一人 男 物語る ということだ

57 ; si-tum-ka-ne-re 「自分を・たくさんのもの中・の上・
 になる・させる」 でしゃばる。

アイヌ民族博物館伝承記録3・昔話

上田トシのウエペケレ

- 発行日 1997年3月31日
- 編集・発行 財団法人アイヌ民族博物館
〒059-09 北海道白老郡白老町若草町2-3-4
TEL 0144-82-3914 FAX 0144-82-3685
- 印刷・製本 (株)北海道機関紙印刷所
〒006 札幌市北区北6条西7丁目
TEL 011-716-6141
- C D 製作 高速録音株式会社
〒113 東京都文京区本郷1-20-9
TEL 03-3814-2721